

イベント「イカす会」を実施するきっかけ

高齢化・過疎化・水揚げ漁船数の減少などにより、また平成20年度以降、県立水産高校小木分校（無線科）の閉校・長く親しまれていたイベント「イカす会」が行われなくなり、小木の町に賑わいがなくなっていた。

それを少しでも解消するために（賑わいを作るため）、昨年、若者たちが中心となって、イベント「ミニミニイカす会」（H25.10.27）＆「恋するフォーチュンクッキー イカの町の小木ver.」の実施作成を行った。これは小木地区住民が熱望していたことであり、また住民が一丸となって実施するきっかけとなった。

以前行われたイベント「イカす会」は10月に実施されていて（中型いか釣の漁期）、港には船がなく漁業者も参加できなかった。

今回6月1日に実施することにより、港には船がいて、漁業者も含めたオール小木で実施できる。また6月に出港する中型いか釣漁船の航海の安全と大漁祈願するイベントに。



能登小木の魅力いっぱい！



能登小木港スマイルプロジェクトは
能登小木を笑顔あふれる町にするプロジェクトです。

「能登小木の魅力がいっぱい体験できるイベントです」

イカす会（平成26年6月1日（日） 県漁協小木支所）

小木港には、出港直前の中型いか釣漁船が大漁旗を掲げて、来場するみなさんを迎えます。
「能登小木の魅力がいっぱい体験」ができ、また「漁業者の航海の安全と大漁祈願する」イベントです。



主催は能登小木港スマイルプロジェクト実行委員会（区会・公民館・漁協・商店連盟・婦人会・壮青年・小木地区役場職員で構成しています。）

開催費用について、今年は、町のエンデバーファンド21（住民主体でのまちづくり活動について助成する事業）の助成をいただいています。能登小木港スマイルプロジェクト実行委員会は、この助成を受けるため組織されました。

開催目的・効果は以下のとおりです。

『小木の住民が小木の魅力の良さを再認識する』・『小木の子どもたちが小木でしかできない体験することにより、「能登小木に生まれ育ってよかった」と郷土愛を育む』・『小木出身者が小木に集まるきっかけを増やす（現在、正月・お盆・祭りとなっているが、今後はイカす会も加わる）』・『小木の魅力を体験することによりファンを多く作り、交流&定住人口の拡大』・『船凍イカの消費拡大』

来年以降はエンデバーの助成を受けることができないので、各機関に協力をお願いし実施したいと考えています。

イベント内容詳細

5月中旬から6月上旬にかけて能登沖が漁場となるスルメイカ

地元漁師さんに朝釣ってきてもらったものを使い「つかみどり」や「釣り」を行います。



船凍イカのPR競技

能登小木で行われていた社会体育大会の競技であった船凍イカのケースを持って走る「走れっ！船凍イカ」

一尾船凍イカを水につけて解かして胴と足を分離させる「一尾船凍イカ早抜き」



小木地区にある金沢大学臨海実験施設による
イカを解剖しながら、イカを知る「めざせイカ博士」



マスコットキャラクター



○県調査船「白山丸」イカ釣漁業体験航海(3航海 1航海定員40名)

小木港の沖合に出て、イカ釣機を動かし、イカ釣漁業体験を行います。3航海行い、1航海目は小木小6年生・小木中3年生に、2・3航海回目は来場者を対象にします。また県水産総合センターによる、イカはどうやって釣れるかななどの説明コーナーも行えるよう調整しています。

○マスコットキャラクターネーミング発表

イカの町能登小木のマスコットキャラクターのネーミングを決定発表します。(現在、募集しています。)

○小木港産イカ・ベニズワイガニ・サザエなどの炭火焼きコーナー

その他、模擬店などもあります。

能登小木の魅力発信！

facebook「能登小木港スマイルプロジェクト」のページをH26.2月に作成し、能登小木の魅力を発信しています。
このページを使って、イベントの周知を行います。

友達、スポット等を検索

灰谷 貴光 ホーム 友達を検索

能登小木港スマイルプロジェクトとして、コメント、「いいね!」、投稿をしていますー 灰谷 貴光に切り替える

能登小木港スマイルプロジェ...

タイムライン

最近

投稿を作成

管理者用パネル



能登小木港スマイルプロジェクト

～イカの町能登小木の魅力発信!～



**能登小木港
スマイルプ
ロジェクト**
いいね! 199人・話題
にしている人244人

ページ情報を更新

「いいね!」しています

フォロー中

地域団体
能登半島北東部に位置する人口2,500人の小さな港町『イカの町能登小木』を笑顔に! 元気に! 魅力を発信
します!

基本データ



写真

いいね!

199